

国語国文学の泰斗「福井久蔵」の和歌・連歌関係の大著を復刻。

# 福井久蔵和歌連歌著作選

全6巻 廣木 一人編・解説



クレス出版

# 刊行にあたって

青山学院大学

廣木 一人

福井久蔵は努力の人である。そのまれにみる努力は実を結び、国語国文学研究の泰斗となった。国語学から出発し、のちに韻文研究に向かった福井は「日本文法史」「国語学大系」など国語学研究においても多大な功績をあげたが、和歌・連歌関係の業績も、それに関わる研究者たる者の中で、その学恩を蒙らざる者を見出すことのできないものである。

福井の学問は当初から文献学を基盤としたものであり、教育者のものでもあったと言つてよい。これは福井の学問形成さらにその後の教育職のあり方がよい方面に働いた結果であつたと思われる。嗣子、福井毅（元皇学館大学教授）によれば、福井は兵庫県尋常師範卒後、独学で学問を身につけたという。独学者はややもすると偏頗になりがちであるが、福井はその欠点を文献を領渉することと乗り越え、一つ一つの文献によってその学問の基盤を確かなものにした。そして、その基盤に立つての教育は、具体的に分かりやすく奇を衒わない論述として多くの著書に示された。

和歌・連歌関係の福井の著作は多いが、既にその一部である「近世和歌史」「二

糸良基」『幕末の歌人』は本クレス出版によって復刊されている。また、三十年ほど前には「福井久蔵著作選集」が国書刊行会から出されている。この度の「福井久蔵和歌連歌著作選」はこれらに続くもので、「大日本歌書総覧」「連歌の史的研究」は昭和のはじめに刊行された福井の著作の中でもっとも大部のもので、その学問の核心を示すものと言える。

前者は福井自身の言葉によれば、古代から明治初頭までに書かれ、また刊行された和歌関係書「六千余部三万巻」を分類の上一覽、各書ごとに解説・書誌情報を加えたものである。各分類のはじめには概説が示されているが、それは文献研究に基づいた和歌史の記述として要を得たものとなつてゐる。後者は前編として連歌史および連歌関係事項を考察、後編として連歌関係書の解説・書誌情報を記したもので、前編が連歌研究史上重要なものであることは勿論であるが、後編は「大日本歌書総覧」と対をなし、この二書によって今は散逸した

ものも含め和歌・連歌書目の総体を提示している。  
本選集にはこの二書に「連歌文学の研究」を加えた。この書は十一点の連歌作品の紹介および注釈で、いまだ他に翻刻のないものを含んでそのことも重要であるが、「水無瀬三吟」などいくつかの注釈はあたかも傍らで輪講を聞くよう

で分かりやすく、福井の教育者としての面が現れている。  
以上、三書は先に述べたような福井の学問の典型を示すとともに、現在の研究にも資する業績として貴重なものである。ここに手に取りやすい形で復刊を試みたゆえんである。これらを踏まえた上で、さらなる研究の進展がなされることを期待している。

## 福井久蔵和歌連歌著作選 全6巻

### 大日本歌書総覧 全3巻

大正15年／不二書房

【内容】 国初より明治の終わりまでの歌に関する写本並に板本を拾く集めて解題する。十二の部門に分ち、上巻に歌学、撰集、中巻に家集、定数歌集、歌合、歌会集、慶吊集、奉納歌集、詠史及訳和集、歌謡集、雑体歌集、雑集。下巻は索引とする。

### 連歌の史的研究 全2巻

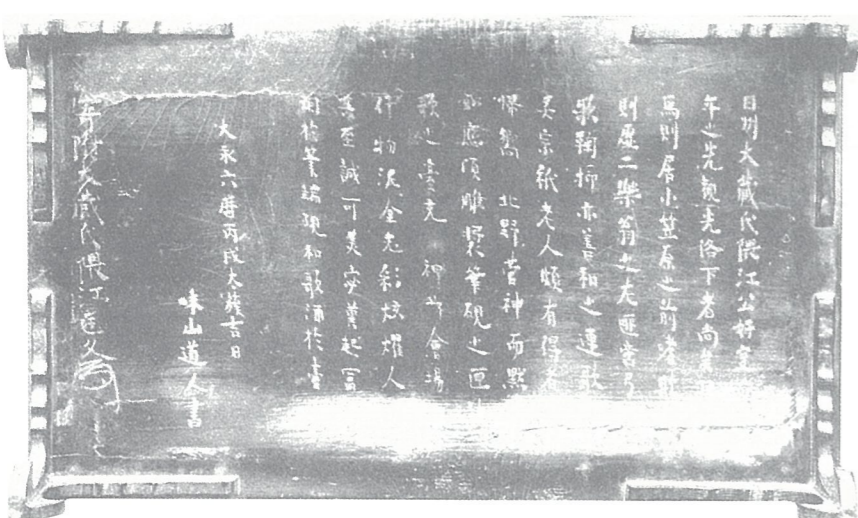
昭和5・6年／成美堂書店

【内容】 前編には連歌の起源発達を論じ、その沿革を明かにし、併せて斯道に於ける重要な人々の著作を通じて、その業績を考えその伝統を審らかにする。後編は連歌に関する学書を始め撰集・句集・百韻・五十韻・世吉・歌仙・千句・万句の類約二千四百余部を年代順に列挙し、一々これを解題する。

### 連歌文学の研究

昭和23年／喜久屋書店

【内容】 水無瀬三吟評釈、湯山三吟評釈、石山百韻、侍公周阿百番連歌合附心敬僧都百句註釈、北畠家二百五十番歌合、宗祇独吟山河百韻、於夢庵牡丹華月村阿衣百韻、聰雪宗牧阿吟住吉法楽百韻註、宗長百番連歌合、連歌難陳判



京都北野神社の宝物、文台裏の歌。

## 大日本歌書総覧

撰集の部

### 書目解題

古今和歌集 二十巻

醍醐天皇の延喜五年紀貫之、凡河内躬恒、紀友則、壬生忠岑四人勅を奉じて和歌所に於て撰す。二十巻歌數凡そ千九十九首、春夏秋冬、賀、別離、鷹旅、物名、戀、哀傷、雜、雜體、(短歌、旋頭歌、俳諧歌、)大歌所歌等に部類す。兩序あり。假名序は紀貫之、漢文序は紀淑望の作といへり。但し異説あり。諸本により歌數詞句に多少の異同あり。紀貫之自筆の陽明門院御本及同じく小野皇太后宮御本は共に夙く燒亡せるよし袋草子に見えたり。但し古筆家が貫之の筆と極めたる断片的のものは尊きあたり又好事の家に秘藏せらるゝもの少からず。近くはこれを影寫し又は摺本とし、或はコロタイプ版とせるもの數種あり。

### い 古今集古寫本

#### 花山法皇宸翰本

これも貫之自筆本とは多少異なる所あるべきか。本書奥書云於賀陽院撰和歌所、以貫之自筆本校了とあり。この

## 連歌の史的研究

### 本論

#### 第一 連歌の名稱と起源

連歌はその由来するところ洵に尙しいものがある。その名稱の如きも五百年七百年の新しいものでない。蓋しそのかみは字音のまゝにレンガと呼んでゐたか、或は訓によりてつらねうたと稱へてゐたかは詳かでない。天曆の頃の歌人曾根好忠が會丹集につらねうたの名目が見えてゐるが、それは數首の歌を文字鎖にして列ねたものであつて吾人の所謂連歌ではない。源經頼の左經記治安二年の條には聯歌といふ語が見え、長元八年賀陽院水閣歌合にも、於山崎橋下乘舟聯句聯歌和漢任意とある。治安も長元も後一條天皇の御治世中の年號で九百餘年前に聯歌の名目が既に使用されてゐる。この記録が漢文に記されてあるところより考へて見るに、この頃は音のまゝに呼ばれたかと思はれる。これより以前にもあるひは既に存在してゐたかと想像はされるが、吾人の見た文獻ではこれが最も古いものと考へられる。

聯歌

つらね歌

# 福井久蔵和歌連歌著作選 全6巻

廣木 一人 編・解説

1. 大日本歌書綜覧 上 定価20,000円(税別) ISBN978-4-87733-568-7
2. 大日本歌書綜覧 中 定価20,000円(税別) ISBN978-4-87733-569-4
3. 大日本歌書綜覧 下 定価10,000円(税別) ISBN978-4-87733-570-0
4. 連歌の史的研究 前編 定価11,000円(税別) ISBN978-4-87733-571-7
5. 連歌の史的研究 後編 定価12,000円(税別) ISBN978-4-87733-572-4
6. 連歌文学の研究 定価11,000円(税別) ISBN978-4-87733-573-1

A5判/上製函入/クロス装 揃定価84,000円(税別)  
平成23年1月末日刊行 ISBN978-4-87733-574-8(セット)

## ●クレス出版好評既刊書●

### 萬葉集歌人研究叢書

全10巻/青木周平・谷口雅博・城崎陽子・倉住薫編・解説  
万葉集は研究者のみが必要とする作品でなく、歌をつくる人や一般愛好者にも広く親しまれている、日本を代表する歌集である。本叢書には入門的性格を持つ書も含めて、今となっては手に入りにくい名著の数々を収録し、さらなる研究の深まりを期待する。  
A5判/揃定価本体64,000円 ISBN4-87733-207-3(セット)

### 百人一首研究資料集

全六巻/吉海直人編・解説  
古くから日本人に親しまれている「百人一首」の総合研究に必要な不可欠な資料を集成。『百人一首』本文や論文・注釈書に限らず、そこから再生された書道手本・異種百人一首・競技かるた・英訳などにまで拡大した、和歌文学を超えた日本文化研究の座右の書。  
A5判/揃定価本体44,000円 ISBN4-87733-205-7(セット)

### 西行研究資料集成

全10巻/西澤美仁監修・解説  
生活体験のにじみ出た述懐歌にすぐれた歌僧西行についての、近代における伝記、和歌の代表的研究書を復刻。『増補 山家集抄』のほか梅沢和軒による『山家集詳解』や『西行法師伝』、尾崎・尾山・窪田の評釈や尾山・川田・風巻による評伝などを収録。  
A5判/揃定価本体94,000円 ISBN4-87733-159-X(セット)

### 類題和歌 鮎玉・鴨川集

全六巻/中澤伸弘・宮崎和廣編・解説  
加納諸平編『類題鮎玉集』と、長澤伴雄編『類題和歌鴨川集』の二歌集を影印で刊行。当時の歌人に多大な影響を与え、その詠歌の傾向や、歌人国学者の動向を見るにも有益。近世後期の和歌や幕末の歌壇、人物、国学の研究に欠く事のできぬものである。  
A5判/揃定価本体95,000円 ISBN4-87733-322-3(セット)

### 近世和歌研究書要集

全八巻/中澤伸弘・宮崎和廣編・鈴木亮編・解説  
近世和歌研究の為の基本的な書物で今日容易に手に入れ難いもののいくつかを集めて、詠風や人物、歌書等に至る研究の資料とする。福井久蔵や森敬三の著作のほか、熊谷武至の私家版稀観本、光葉会(昭和女子大学)の「文学遺跡巡礼」などを収録。  
A5判/揃定価本体95,000円 ISBN4-87733-301-0(セット)

### 国学和学研究資料集成

全八巻/中澤伸弘・鈴木亮編・解説  
国学及び和学(神道の思想をはじめ日本文学、歴史学、言語、法制、有職故実など)に関する文献の中で今日なおその資料価値の高いもの、また稀観の部類に属するものを選ぶ。真の日本文化を究め、日本人固有の心情を捉えようとした先学の偉業を回顧する。  
A5判/揃定価本体95,000円 978-4-87733-430-7(セット)

### 芭蕉研究資料集成 昭和中期篇

全8巻/佐藤勝明編・解説  
松尾芭蕉に関する研究は、層の厚さといひ広がりといひ、日本文学の中でもとりわけ充実したものである。明治篇・大正篇、そして昭和前期篇に続く昭和二十年・三十年代に刊行された大きな意味をもつ研究書・注釈書を復刻。  
A5判/揃定価本体95,000円 978-4-87733-496-3(セット)

### 蕉門研究資料集成

全八巻/佐藤勝明編・解説  
俳諧という文芸の本質を明らかにするために、また芭蕉という存在の独自性と普遍性を見極めるためにも蕉門研究・俳壇研究は必要である。昭和三十年代までに刊行された伝記的事実の解明と、作品そのものの正当な評価・位置づけをする基本的文献を復刻。  
A5判/揃定価本体95,000円 ISBN4-87733-239-1(セット)

〒103-0001 東京都中央区日本橋小伝馬町14-5 メローナ日本橋  
☎03-3808-1821 ☎03-3808-1822 <http://www.kress-jp.com/>

●書店名